

【手漉き和紙たにの】

和紙手漉き技術を活用した地域の廃棄物を原料とする サステナブル防草シートの開発

開発のねらい

和紙の抄造技術を活用し、従来は廃棄されてきた楮等の原料や野菜の副産物などを素材とした防草シートを開発することにより、農産品のロスの削減や製造コストの抑制、生産者の健康リスクの軽減、作業負担の軽減を図る。また、新たな農産物をネリの代替原料として活用することで、和紙原料の喪失リスクの軽減を図るとともに、地域資源の有効活用や産業間連携の創出を図ることを目的とする。

開発の概要

- ①売り物にならない野菜クズ（ネギ）、楮の外皮、楮の芯を炭化させたものを使った和紙防草シートの開発に取り組んだ。
- ②楮栽培用の円型シートと畑での野菜栽培用の大型シートの2つの形状の防草シート開発に取り組んだ。
- ③トロロアオイの代替えとしてのサボテン類をネリの原料として活用した防草シート開発に取り組んだ。

特長

野菜クズ（ネギ）、楮の外皮、楮の芯を炭化させたもの（楮芯炭）など、従来は商品として用いられずに廃棄されていた農産品の副産物を原料とした和紙の防草シートとすることで、作物収穫後も撤去せず、再び土壌化することが可能である。

また、夏季の確保が困難なトロロアオイの代わりに、夏季はサボテンを併用することで、通年安定した製造が可能である。

用途

現状では、和紙の原料となる楮の栽培圃場での使用が中心になる見込みである。

今後、野菜畑での使用が可能な大型のシートや、家庭用のプランターで使用可能なカットタイプのシート開発も進めていく予定である。



【円型防草シート】



【楮畑での実証試験】



【ウチワサボテンからのネリの抽出】

お問い合わせ先

【所在地】 〒355-0362 埼玉県比企郡ときがわ町桃木62-1

【連絡先】 TEL 0493-59-8441 FAX 0493-59-8442 谷野

<http://www.monme.net>

